

平成27年 1 月 8 日

1 月定例所長会見における発電所長挨拶内容

- 所長の横村でございます。
- 福島第一原子力発電所の事故から 3 年 10 ヶ月が経とうとしておりますが、未だ、福島県の皆さま、新潟県の皆さま、そして広く社会の皆さまに、大変なご心配とご迷惑をおかけし続けておりますことを、あらためて心よりお詫び申し上げます。
- また、平成 27 年と新しい年を迎えました。今年一年、改めてどうぞ宜しくお願いいたします。
- 本日、私からは 4 点お話しをさせていただきます。
- まずは、原子力規制委員会による現地調査の実施結果についてです。

昨年 12 月 12 日に原子力規制委員会によるプラント設備に関する現地調査が行われ、これまでに取り組んでまいりました設計基準への適合性や、重大事故等の対策及びその有効性について、約 100 箇所にわたって実際の設備をご覧いただき、ご確認いただきました。

このたびの現地調査を踏まえて、原子力規制委員会による審査が継続して行われていくことになると思いますので、今後とも審査会合へ真摯に対応してまいります。
- 次に、発電所敷地内外で実施しております地質調査の状況についてです。

作業の実施状況につきましては、敷地内で実施しております 1～4 号機側の立坑に関する作業は、立坑周辺の地質をより精緻に確認するためのボーリング作業を先月中旬より開始し、継続して行っているところです。

また、敷地外で実施しております刈羽村村内におけるボーリング作業につきましては、追加分の作業を引き続き行っております。

現場の作業と並行して、収集したデータの解析や評価を継続して行っており、評価状況を踏まえながら原子力規制委員会へご報告、ご説明を行ってまいりたいと考えております。

- 次に、IAEAによる運転安全評価に関するレビューの実施についてです。

昨日、経済産業省の宮沢大臣とIAEAの天野事務局長による会談が行われ、IAEAによる当発電所の運転安全評価に関するレビューの実施について合意がなされました。

このたびのレビューについては、かねてより経済産業省資源エネルギー庁より電力各社へ受け入れの打診が寄せられる中、私どもより受審を希望させていただき、受け入れの合意に至ったものです。

当社は、福島第一原子力発電所の事故を踏まえてハード、ソフト両面から様々な安全対策に取り組んできているところですが、第三者機関であるIAEAより国際的な知見や経験に基づき、国際的な水準から評価・指導をいただくことにより、安全対策のさらなる改善・充実が図れるものと考えております。

レビューの詳細に関しましては、今後、IAEAと調整を進めてまいります。

- 最後に、「地域の皆さまへの説明会」の開催についてです。

今月22日に柏崎市にて、翌23日に刈羽村にて、発電所の取り組み状況を地域の皆さまへお伝えする説明会を開催いたします。今回の説明会は、震災以降では6回目の開催となります。

現在、原子力規制委員会において新規制基準への適合性確認について審査をいただいておりますが、今回の説明会ではその対応状況についてご説明させていただく予定です。

是非、多くの皆さまに説明会にご参加いただき、現在進めております安全対策の取り組みについて、ご理解が深まるような一つの機会になればと考えております。

発電所の安全対策への取り組みにつきましては、今後とも、地域の皆さまにご理解いただけますよう様々な形で丁寧にご説明を続け、地域の皆さまにご安心いただけるように努めてまいります。

○ 本日、私からは以上です。

以 上